

2003年12月9日

(仮称) JR小田原駅ビル建設について
～小田原の新しい玄関口・2004年春着工予定～

JR東日本では、東海道線小田原駅に首都圏以外の駅ビルとしては、山形駅ビル「メトロプラザ」(1993年開業)以来、10年ぶりの本格的な駅ビルを建設します。

「(仮称)JR小田原駅ビル」は、食料品・雑貨・サービスなど生活密着型業種を中心とした駅ビルにファッションを組み合わせた新しいテナントミックスの駅ビルとし、地元の方々や駅を利用されるお客さまにとって、「駅が便利で楽しい」を提供していきます。

当駅ビルへは、駅のコンコースフロア3階、計画中のペデストリアンデッキフロア2階、駅前広場1階と計3フロアからアクセスできる利便性の高い駅ビルです。

小田原駅舎の橋上化及び東西自由通路工事により、大正9年に建設された駅舎が撤去され、生み出された敷地に、自由通路を抱き込んだ形で一体となった駅ビルとなります。

その駅ビル内には車椅子対応のエレベータを設け、駅前広場、ペデストリアンデッキ、駅コンコースへと移動する高齢者や車椅子をご利用のお客さまのサポートをいたします。

また、「(仮称)JR小田原駅ビル」は、JR東日本が推進しているステーションルネッサンスの一環として、お客さまの利便性を向上します。

駅ビル建設により、小田原市の推進する中心市街地活性化とりわけ、商業活性化の一助となります。

事業方式 当駅ビルの事業方式は、く体・外装をJR東日本が負担し、内装・設備を平塚ステーションビル株が負担する共同開発方式とし、運営は、平塚ステーションビル株が行う。

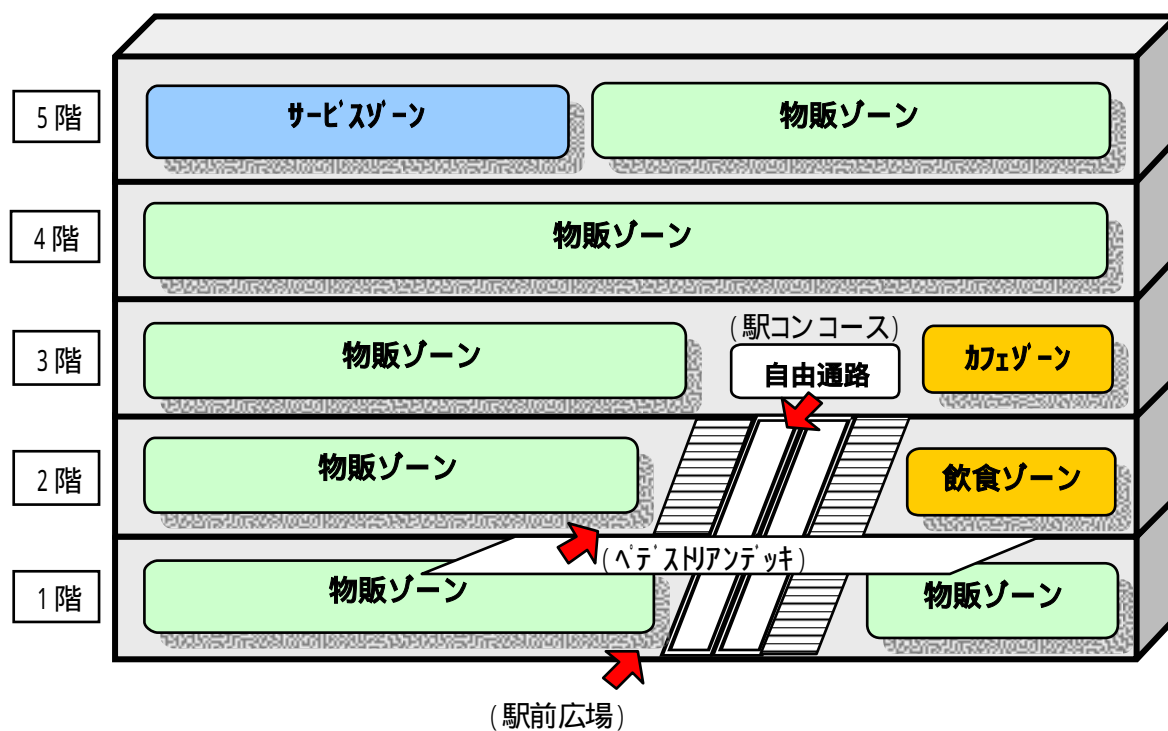
施設概要

(1)構造 / 規模	鉄骨造	地下1階(機械室等)・地上5階
(2)敷地面積	約	2,900 m ²
(3)延床面積	約	13,400 m ²
(4)店舗面積	約	6,400 m ²

業種(予定) 物販・飲食・サービス(1～5F)

開業予定 2005年夏

(仮称)JR小田原駅ビル フロアイメージ



(イメージパース)